

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 16 日現在

機関番号：14401

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2020～2022

課題番号：20K21985

研究課題名（和文）日本近代文学における性科学の展開と韓国への影響

研究課題名（英文）The Development of Sexology in Japanese Modern Literature and its Impact on Korea

研究代表者

朴 秀浄 (Park, Soojung)

大阪大学・大学院人文学研究科（人文学専攻、芸術学専攻、日本学専攻）・招へい研究員

研究者番号：70878248

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では日本に受け入れられた西洋の性科学が、日本という窓口を通して、韓国へ広がる様相を調べ、そこから日本の性科学と、韓国の性科学との相違点を考察し、日本における性科学の研究の対象や内容を更新することができた。とりわけ、性科学ブームに欠かせない「書籍」に着目し、書籍の流通や検閲、韓国の雑誌や新聞などに見られる日本の性科学という知の広がりを掴み取り、最終的には韓国における性科学の展開の内実を考察した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来は、西洋の性科学が日本に定着していく受容史のみが論じられてきたものの、本研究では、日本は西洋の性科学を受容して韓国へ発信したという観点から、日本における性科学の受容・他国への発信を論じるという学術的な意義を持つ。また、日本と韓国の検閲記録を詳細に比較できたことも本研究の意義の一つである。これまでには、検閲制度の比較に焦点が当てられてきたが、本研究は記録内容を読み比べ、日本では発売禁止処分を受けていない性科学の書物が、韓国へ輸入されたり、韓国で販売されたりした際に、規制を受けたことを証明した。

研究成果の概要（英文）：This research investigates how Western sexology, which has been accepted in Japan, spreads to Chosun(Korea). Thus this study considered the differences between Japanese sexology and Korean sexology, so updated the research subjects and contents of sexology research in Japan. Particularly, this research focused on sexological books, which are indispensable for the sexology boom, censorship, and the spread of knowledge of Japanese sexology in Korean magazines or newspapers.

研究分野：比較文学

キーワード：性科学 検閲 告白の制度 セクシュアリティ ジェンダー

## 1. 研究開始当初の背景

本研究は、欧米から日本へ輸入された性科学(Sexology)の知見が、さらに植民地時代の韓国(朝鮮)へ拡大していく経緯や様相を追うものである。これまでの研究では、大正時代を中心に西洋の性科学書が膨大に翻訳され、それに刺激を受けた日本人の学者が、日本における性科学・性欲学を牽引していったことが判明されてきた。しかし、日本は性科学の受信者だけでなく、発信者でもあった。日本における性科学ブームの時期は、韓国が日本の植民統治を受けた時期と重なり、韓国はあらゆる分野で日本の影響を受けざるを得なかった。よって、本研究は日本に受け入れられた西洋の性科学が、日本という窓口を通して、韓国へ広がる様相を調べ、そこから日本の性科学と、韓国の性科学との相違点を考察し、日本における性科学の研究の研究对象や内容の更新を試みる。

## 2. 研究の目的

本研究は、日本が受け入れた西洋の性科学が、日本を介して韓国へ行き着く過程を明らかにすることを目的とする。従来の研究によると、韓国の知識人や文学者などは、日本に留学した際に性科学に接していた。しかしながら、それだけでなく、日本に翻訳された西洋の性科学書や、日本人が著した性欲学の書籍・資料などが同時代の韓国でも流通されていた。そのため、性科学ブームに欠かせない「書籍」に着目する必要がある、本研究は主として書籍の流通や検閲、韓国の雑誌や新聞などに見られる日本の性科学という知の広がりやを掴み取ることを目的とする。

## 3. 研究の方法

韓国における性科学書の流通や検閲を調べるために、朝鮮総督府が作成した『禁止単行本目録』に注目した。この文献では、日本で製作された書籍が、韓国へ輸入された際に、もしくは韓国で販売された際に、どのような規制を受けたか記録されている。この目録を、日本の内務省が書いた『禁止単行本目録』と比較すると、日本国内では発売禁止処分を受けていない書籍が、韓国では処分を受けたケースが多数見つかる。ここから、日本が性科学ブームを迎えた時期の韓国において、どれだけ性科学が根を下ろしにくい状況にあったか分かる。次に、これらの書籍が規制を受けた時期に韓国で発売・刊行された新聞や雑誌を調べ、そこに書かれている性科学に関連する記事や読み物を、同時代の日本のものに比べると、韓国における性科学の展開の内実が見て取れる。今回の研究で使った新聞には、『東亜日報』『朝鮮日報』などがあり、雑誌としては『東光』『別乾坤』などがある。これらの雑誌に見られる性科学の知は、同時代の日本の性科学書・性欲学書によく見られる知識であるものの、そういった知識の科学的な裏付けとなる「症例」、つまり当事者による告白文は韓国では見当たらず、本研究はそのような相違点を生んだ時代的、社会的、政治的な条件・背景に焦点を当てた。

## 4. 研究成果

(1)日本の性科学と韓国の性科学との相違点を明らかにした：まず、西洋の性科学と日本の性科学との共通点は、「異常性性愛」の告白であることに目を向け、それが韓国の性科学では見られないことを指摘した。そして、このような当事者による告白が、なぜ韓国の新聞や雑誌などにおける性科学を扱った記事に見られないかその理由を追究した論文(「日本と植民地朝鮮における性科学言説の展開とその相違に関する一考察」、『日本文化學報』91巻、韓国日本文化学会、2021年、pp.65-88)に掲載した。(2)日本における性科学の知の広がりについて調べつつ、文学作品に見られる性科学の言説を明らかにした：性科学の言説を意欲的に学び、複数の作品に施した三島由紀夫に注目し、小説「女方」に表象されている女形の性役割と性的指向、それを見つめる主人公の眼差しに潜んでいる性科学の知識を分析し、学術誌の論文(「三島由紀夫「女方」論 越境するジェンダーとセクシュアリティに注目して」、『日本研究』56巻、中央大学校日本研究所、2022年、pp.99-118.)(3)日本と韓国の検閲制度を比較しながら、検閲と性科学の展開との関連性を考察した：韓国で風俗壊乱の理由による発売禁止処分を受けた日本の書籍が、ほぼ大正時代に流行った性科学ブームに関係あることから、韓国の性科学が独自の研究につながらなかった理由を推測し、学術誌に載せた(「『朝鮮総督府禁止単行本目録』と日本内務省の『禁止単行本目録』の比較考察 「風俗壊乱」に見る性科学の輸入」、『東北アジア文化研究』72巻、東北アジア文化学会、2022年、pp.139-162)。

このように、本研究では合計3本の論文を学術誌に掲載することができた。とりわけ、韓国

の学会誌に成果を発表し、未だ性科学のことが十分に知られていない韓国の日本研究界に、性科学に関する研究の必要性を訴えたことも本研究の成果の一つと言える。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 朴秀浄	4. 巻 91
2. 論文標題 日本と植民地朝鮮における性科学言説の展開とその相違に関する一考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本文化學報	6. 最初と最後の頁 65-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.21481/jbunka..91.202111.65	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 朴秀浄	4. 巻 56
2. 論文標題 三島由紀夫「女方」論 越境するジェンダーとセクシュアリティの混沌に注目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本研究	6. 最初と最後の頁 99-118
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20404/jscau.2022.02.56.99	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 朴秀浄	4. 巻 72
2. 論文標題 『朝鮮総督府禁止単行本目録』と日本内務省の『禁止単行本目録』の比較考察 「風俗壊乱」に見る性科学の輸入	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東北亜文化研究	6. 最初と最後の頁 139-162
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.17949/jneac.1.72.202209.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件/うち国際学会 1件）

1. 発表者名 朴秀浄
2. 発表標題 三島由紀夫「女方」論 越境するジェンダーとセクシュアリティに注目して
3. 学会等名 第7回韓日学術大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 朴秀浄
2. 発表標題 性科学とセクシュアリティの告白 韓国と日本の事例を中心に
3. 学会等名 阪大比較文学会シンポジウム
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関